

横井 克典 議員 無会派



問 自由通路の市民ニーズの把握は

答 市民ニーズだけで進めていない

問 総合計画のアンケートの総論的な回答を、市民の意見、根拠として事業を進めるのか。

答 [建設部長] 駅や市役所周辺整備、公共交通の利便さを求める意見が多数あり、第2次総合計画の主要施策に位置付け進めている。

問 市民の理解が得られ、市民が待ち望んでいる施設と認識しているのか。

答 前向きでない意見が多数あることは認識しているが、東西踏切の緩和、安全確保、駅周辺まちづくりを進めるのが、重要な事業であると認識。

問 事業に対する、市民ニーズを把握するため、アンケートを実施する考えは。

答 市民ニーズだけで進めている事業ではないので、

考えていない。

問 自由通路の1日の通行者数を、約6千人と見込んだ根拠は。

答 JRは2900人、名鉄は2800人、それ以外の利用で300人。

問 東西踏切の交通渋滞の軽減や、歩行者錯綜の改善の数値化をする考えは。

答 考えはない。

問 西側踏切の拡幅で、これまでどのような安全対策を講じてきたのか。

答 踏切誘導員の配置、JR・名鉄間の用地買収で滞留所を確保。

問 都市計画審議会委員に、学者を任命しない理由は。

答 [市長] 今後、必要があれば任命する。

問 市民の多くが、事業を十分に理解していないと感じるが、認識は。

答 市民への説明会はコロナ禍でできていない。

区長・区長補助員と懇談したので、市民への説明は考えていない。

問 鉄道事業者の都合ではなく、両駅を橋上駅舎として整備すべきでは。

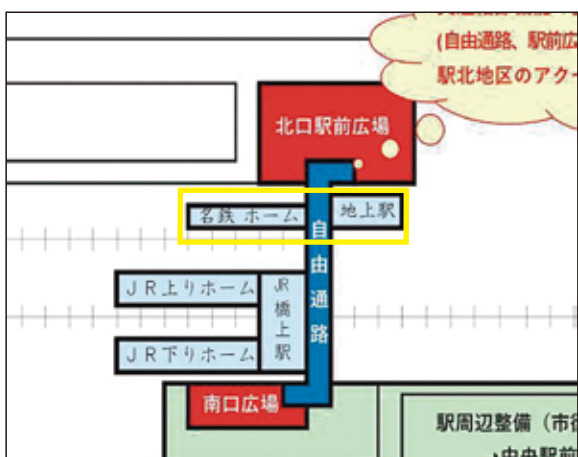
答 工期・工事費が増大する。また、名鉄駅舎を橋上駅にすると昇降施設が必要になり、現在の名鉄用地内では施工できないので、計画通り進めたい。

問 一度立ち止まって、当面延期する考えは。

答 長い年月をかけた鉄道事業者2者との協議が整った。中期財政計画でも必要経費を盛り込んだ上で、適切な財政運営も行えるので進めたい。



▲JR・名鉄弥富駅西側踏切



▲弥富駅周辺地区整備のイメージ (抜粋)